



報道機関各位

平成26年6月23日

| |
|------------------------|
| 健康福祉部健康増進課 |
| 担当者 竹内、西田、手賀 |
| 電話番号 0776-20-0348、0352 |
| 県庁内線番号 2620、2628、2630 |

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（平成26年第4報）

1 概要

平成26年6月21日午前9時頃、坂井健康福祉センター管内の医療機関から坂井健康福祉センターに対し、患者から腸管出血性大腸菌O157およびベロ毒素を検出した旨、届出があった。このため、坂井健康福祉センターは、患者の健康状態、行動等についての調査を実施した。

2 患者等の状況

- ① 患者 坂井健康福祉センター管内在住の10代女性 1名
 主な症状：水様性下痢、発熱、腹痛
 現在の状態：症状は続いている。

| 発症日 | 初診日 | 入院 | 退院 | 便検査 | |
|------|------|------|----|-------|--------|
| | | | | 便検査開始 | ベロ毒素確認 |
| 6/17 | 6/18 | 6/21 | — | 6/18 | 6/21 |

- ② 接触者の健康状況
 4名症状なし。（4名に対し、検便を実施し、衛生環境研究センターで検査中）

3 発生に伴う対応

坂井健康福祉センターにおいて、次の措置を実施した。

- ① 本人の健康状態、行動および喫食状況を調査
- ② 衛生教育の実施
- ③ 自宅等の消毒の指示

4 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

| | | 平成24年 | 平成25年 (全国は暫定数) | 平成26年 (全国は6月8日現在) | 備考 |
|-----|----------|-------|-------------------|----------------------|-----------|
| 全国 | 届出数 (人) | 3,768 | 4,033 | 485 | 昨年同期：428人 |
| 福井県 | 発生件数 (件) | 11 | 17 | 4 | 昨年同期：0件 |
| | 届出数 (人) | 14 | 26 | 5 | 昨年同期：0人 |
| | 有症者 (人) | 11 | 23 | 4 | 昨年同期：0人 |
| | 無症者 (人) | 3 | 3 | 1 | 昨年同期：0人 |
| | 初発 (月日) | 1/17 | 7/30 | 3/18 | |
| | 最終 (月日) | 10/29 | 12/9 | | |

※ 腸管出血性大腸菌感染症の発生がありましたので、以下のことを徹底してください。

感染を予防するには、各家庭において次の事項に留意することが大切です。また、腹痛や下痢、血便等の症状がある場合には調理等を行うことを控え、早めに医療機関を受診しましょう。

- ① 少量の菌で感染が成立することから、手洗いが最も重要です。特に調理や食事の前、用便後や便の始末をした際には十分に手を洗いましょう。
- ② 調理器具は食品ごとにこまめに流水で洗い、熱湯をかけておきましょう。
- ③ 生野菜は流水でよく洗い、肉類や加熱する食品は十分に加熱（中心部を75℃で1分以上）しましょう。
- ④ 生食用の牛レバーは提供・販売されていません。牛レバーは、必ず中心部まで十分に加熱（中心部を75℃で1分以上）して食べましょう。
- ⑤ 焼肉をする場合は、生肉専用の箸を用いるなど、箸の使い分けをしましょう。